

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-108007
(43)Date of publication of application : 24.04.1998

(51)Int.Cl. H04N 1/393
G06T 8/40
// H04N 1/409

(21)Application number : 08-281364
(22)Date of filing : 02.10.1996

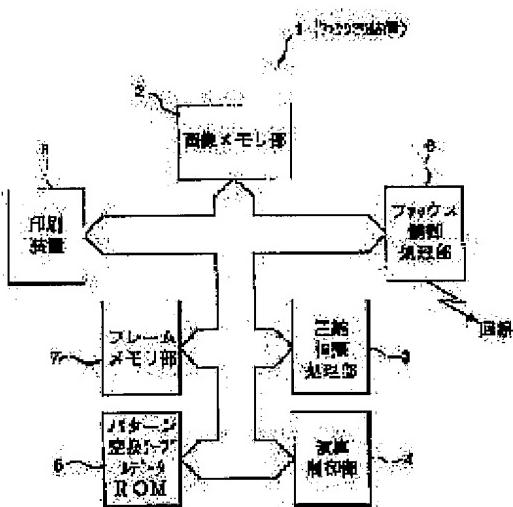
(71)Applicant : RICOH CO LTD
(72)Inventor : MASUDA TOSHIYA

(54) IMAGE REDUCTION METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent image omission or the like from being generated in the linear part of a ruled line, a line in a character and an underline, etc., by selecting a reduction pattern for which it is estimated that the degradation of images is least.

SOLUTION: When the reduction of image data is required, replacement to the reduction pattern is performed by the unit of the total of four dots that are a front one dot (or front one line) and back two dots (or back two lines) with a dot under consideration as a center among the respective dots for constituting the image data or by a unit of 4×4 dot, based on a conversion rule and the image data are reduced. A compression/expansion processing part 3 performs the processing of compressing non-worked bit map image data stored in an image memory part 2 and the processing of expanding the compressed code data to the bit map image data, etc. An arithmetic control part 4 performs the arithmetic processing of a dot (line) number required to be thinned, based on compressibility, the processing of extracting reference data from the image data and the processing of selecting the reduction pattern with a reference pattern as a retrieval key, etc.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(10) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-108007

(43)公開日 平成10年(1998)4月24日

(51)Int.CL⁹
 H 04 N 1/393
 G 06 T 3/40
 J H 04 N 1/409

類別記号

P I
 H 04 N 1/393
 G 06 F 15/66 S 55 D
 H 04 N 1/409 101 D

審査請求 未認求 請求項の数1 FD (全9頁)

(21)出願番号 特願平8-281364
 (22)出願日 平成8年(1996)10月2日

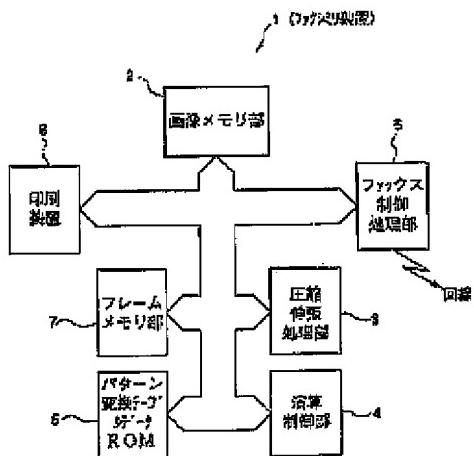
(71)出願人 000006747
 株式会社リコー
 京京都大田区中馬込1丁目3番6号
 (72)発明者 増田 敏哉
 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式
 会社リコー内

(54)【発明の名称】 画像縮小方法

(55)【要約】

【課題】 本発明はイメージデータの縮小を行なっても、縦横や文字中の線、アンダーラインなどの線状部分に画像抜け、文字ぼれや画像ぼれなどが発生しないようとする。

【解決手段】 相手側のファクシミリ装置に対して、画像データを送信するとき、相手側ファクシミリ装置の能力(受信できる解像度)を判定し、この判定結果に基づき、画像データの縮小が必要なとき、上述した変換規則に基づき、画像データを構成する各ドットのうち、注目ドットを中心にして、前1ドット(または、前1ライン)、後ろ2ドット(または、後ろ2ライン)の計、4ドット単位、または 4×4 ドット単位で、縮小パターンに置き換えて、画像データを縮小し、これを相手側のファクシミリ装置に送信する。



(2)

特開平10-108007

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 標準の解像度に対して高解像度の画像データをメモリに蓄積して送信する画像処理装置または印刷部分に対して、それより高密度な画像データをメモリに一旦、蓄積受信して印刷する画像処理装置で使用される画像縮小方法において、

受信相手機の受信能力または印刷部分の印刷解像度に応じて画像データを縮小する際、

主走査方向の縮小を行なうとき、間引こうとするドットを中心にして前1ドット、後ろ2ドットの計、4ドットの参照パターンに基づき、データの性質を抽出し、画像の劣化が最も少ないと推定される縮小パターンを選択して、前記4ドットを縮小パターンに書き換えて縮小処理を行ない、

副走査方向の縮小を行なうとき、間引こうとするラインを中心にして前1ライン、後ろ2ラインの同じ位置にあるドットの計、4ドットの参照パターンに基づき、データの性質を抽出し、画像の劣化が最も少ないと推定される縮小パターンを選択して、前記4ドットを縮小パターンに書き換えて縮小処理を行ない、

主走査方向とともに副走査方向にも縮小を行なうとき、間引こうとするドットを中心にして、前1ドット、後ろ2ドット、前1ライン、後ろ2ラインの 4×4 ドット

(16ドット)の参照パターンに基づき、データの性質を抽出し、画像の劣化が最も少ないと推定される縮小パターンを選択して、前記 4×4 ドットを縮小パターンに書き換えて縮小処理を行なうことと特徴とする画像縮小方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、2種画像イメージを縮小して送信するファクシミリ装置、2種画像イメージを縮小して印刷するファクシミリ装置、2種画像イメージを縮小して印刷する各種印刷装置、2種画像イメージを縮小して印刷する複写装置などで使用される画像縮小方法に関する。

【0002】

【従来の技術】2種画像イメージを縮小して送信するファクシミリ装置などとして、従来特開平6-54171号公報の「ファクシミリ交換機用のイメージ処理装置」や特開平6-328850号公報の「ファクシミリ装置」などが知られている。特開平6-64171号公報の「ファクシミリ交換機用のイメージ処理装置」では、送信イメージ解像度判定部によってイメージサイズの縮小が必要であると判断されたとき、蓄積ドキュメントのイメージサイズおよび蓄積イメージ解像度に基づいて決まるイメージのドット数と、送信する際の相手ファクシミリ端末に対する送信可能なイメージサイズおよびイメージ解像度によって決まるイメージのドット数とが最も近くなるように、相手ファクシミリ端末が受信可能なり

メージ解像度を選択し、この選択結果に基づき、イメージ並大縮小部によって蓄積ドキュメントのイメージを拡大、縮小して、イメージのサイズ、イメージ解像度を調整した後、相手ファクシミリ端末に伝送する。これにより、ファクシミリ形式でドキュメント(文書データ)の送信を行なう際、相手ファクシミリ端末が受信可能なイメージサイズが蓄積ドキュメントのイメージサイズよりも小さい場合に、イメージの解像度を調整して、画像劣化を防いでいる。また、特開平6-328850号公報の「ファクシミリ装置」では、画像データの送信に先立って受信側から送信側にD I S信号(デジタル識別信号)を送出するファクシミリ装置において、記録紙サイズ情報デコード手段によってD I S信号を処理して受信側の記録紙サイズなどの情報を抽出し、原稿画像サイズ判別手段によって送信原稿の画像サイズに対する記録紙サイズの縮小率を判別した後、画像データ縮小手段によって前記縮小率に基づき送信する画像データを縮小して、受信側に送信する。これにより、例えば受信側の記録紙サイズがA4であり、送信側の原稿サイズがB4であるような場合には、原稿の画像データをB4サイズからA4サイズに縮小して、受信側に送信し、受信側で、1枚分の原稿の画像を複数に分割することなく、1枚の縮小された画像として印字させる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述したファクシミリ装置など使用されている画像縮小方法においては、次に述べるような問題があった。まず、従来のファクシミリ装置などでは、高解像度のモードでメモリに蓄積されたイメージを送信する際、受信相手機の能

力(解像度)が低いことが分かった時点で、各ページ毎のデータを主走査方向や副走査方向に変倍(縮小)してこれを送信するようしているが、このとき画像の結構を考慮することなく単純に間引いて縮小しているので、墨線や文字中の線、アンダーラインなどの線状部分に画像抜けが生じ易いとともに、文字が判別し難くなったり、墨線やアンダーラインが欠落したりすることがしばしば発生し、ファクシミリ出力の品質が低下するという問題があった。そこで、このような画像の欠落を防ぐため、O R処理(オア処理)をしてから間引いて縮小する方法も考えられているが、このようにすると墨線やアンダーラインが欠落するなどの問題を解決することができるものの、文字横れや画像横れ、線が太くなるなどの問題が発生するため、このような縮小方法を使用しても、ファクシミリ出力の品質低下を防止することができないという問題がある。

【0004】本発明は上記の事情に鑑みてなされたものであり、縮小するために間引くドットと、その前後または左右のドットとの計、4ドット(または、 4×4 ドット)のパターンから画像の特徴を抽出し、この抽出結果に基づき、画像の劣化が最小になると推定される縮小バ

(3) 特許平10-108007

3

ターンを選択して、前記4ドット（または、 4×4 ドット）を縮小パターンに置き換えることにより、断線や文字中の縁、アンダーラインなどの線状部分に画像抜けなどが発生しないようになることができるとともに、文字横れや画像横れなどが発生しないようになることができる。これによってイメージデータの縮小を行なっても、ファクシミリ出力の品質が低下するのを防止することができる画像縮小方法を提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために本発明は、標準の解像度に対して、高解像度の画像データをメモリに蓄積して送信する画像処理装置または印刷部分に対して、それより高密度な画像データをメモリに一旦、蓄積受信して印刷する画像処理装置で使用される画像縮小方法において、受信相手側の受信能力または印刷部分の印刷解像度に応じて、画像データを縮小する際、主走査方向の縮小を行なうとき、間引こうとするドットを中心にして、前1ドット、後ろ2ドットの計、4ドットの参照パターンに基づき、データの性質を抽出し、画像の劣化が最も少ないと推定される縮小パターンを選択して、前記4ドットを縮小パターンに置き換えて縮小処理を行ない、また、副走査方向の縮小を行なうとき、間引こうとするラインを中心にして、前1ライン、後ろ2ラインの同じ位置にあるドットの計、4ドットの参照パターンに基づき、データの性質を抽出し、画像の劣化が最も少ないと推定される縮小パターンを選択して、前記4ドットを縮小パターンに置き換えて縮小処理を行ない、また、主走査方向とともに、副走査方向にも縮小を行なうとき、間引こうとするドットを中心にして、前1ドット、後ろ2ドット、前1ライン、後ろ2ラインの 4×4 ドット（16ドット）の参照パターンに基づき、データの性質を抽出し、画像の劣化が最も少ないと推定される縮小パターンを選択して、前記4ドットを縮小パターンに置き換えて縮小処理を行なうことを探している。

【0006】上記の構成により、標準の解像度に対して、高解像度の画像データをメモリに蓄積して送信する画像処理装置または印刷部分に対して、それより高密度な画像データをメモリに一旦、蓄積受信して印刷する画像処理装置で使用される画像縮小方法において、受信相手側の受信能力または印刷部分の印刷解像度に応じて、画像データを縮小する際、主走査方向の縮小を行なうとき、間引こうとするドットを中心にして、前1ドット、後ろ2ドットの計、4ドットの参照パターンに基づき、データの性質を抽出し、画像の劣化が最も少ないと推定される縮小パターンを選択して、前記4ドットを縮小パターンに置き換えて縮小処理を行ない、また、副走査方向の縮小を行なうとき、間引こうとするラインを中心にして、前1ライン、後ろ2ラインの同じ位置にあるドットの計、4ドットの参照パターンに基づき、データの性

4

質を抽出し、画像の劣化が最も少ないと推定される縮小パターンを選択して、前記4ドットを縮小パターンに置き換えて縮小処理を行ない、また、主走査方向とともに、副走査方向にも縮小を行なうとき、間引こうとするドットを中心にして、前1ドット、後ろ2ドット、前1ライン、後ろ2ラインの 4×4 ドット（16ドット）の参照パターンに基づき、データの性質を抽出し、画像の劣化が最も少ないと推定される縮小パターンを選択して、前記4 \times 4ドットを縮小パターンに置き換えて縮小処理を行なうことにより、断線や文字中の縁、アンダーラインなどの線状部分に画像抜けなどが発生しないようになるとともに、文字横れや画像横れなどが発生しないようになり、これによってイメージデータの縮小を行なっても、ファクシミリ出力の品質が低下するのを防止する。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、本発明を図面に示した形態例に基づいて詳細に説明する。図1は本発明による画像縮小方法の一形態例を適用したファクシミリ装置の一例を示すブロック図である。この図に示すファクシミリ装置1は、少なくとも1ページ分の画像データを蓄積するための必要な記憶容量を持つ画像メモリ部2と、この画像メモリ部2に蓄積されている未加工のピットマップイメージデータもしくは何らかの画像圧縮処理された画像コードデータをピットマップデータを圧縮する処理、圧縮コードデータをピットマップイメージデータに伸張する処理などを行なう圧縮伸張処理部3と、圧縮率に基づき引かなくてはならないドット（ライン）数の算算処理、画像データから参照データを抽出する処理、参照パターンを換算キーとして縮小パターンを選択する処理などを行なう演算制御部4と、参照パターンとこの参照パターンに対応する縮小パターンとを格納するパターン変換テーブルデータROM5と、ファクシミリ送受信制御処理、受信相手側の能力（受信できる解像度など）を得る処理などを行なうファックス制御処理部6と、前記演算処理部4によって縮小パターンに置き換えて縮小した画像データを一旦、蓄積するフレームメモリ部7と、このフレームメモリ部7などに蓄積されている画像データなど、印刷対象となっている画像データを印刷する印刷装置8とを備えている。

【0008】回復を介して相手側のファクシミリ装置に対する画像データを送信するとき、相手側ファクシミリ装置の能力（受信できる解像度）を判定し、この判定結果に基づき画像データの縮小が必要なとき、次に述べる変換規則に基づき画像データを構成する各ドット（画素）のうち、任意ドットを中心にして、前1ドット（または、前1ライン）、後ろ2ドット（または、後ろ2ライン）の計、4ドット単位、または 4×4 ドット単位で、縮小パターンに置き換えて、画像データを縮小し、これを相手側のファクシミリ装置に送信する。

50

(4)

特開平10-108007

5

【0009】《主走査方向に縮小する処理で使用する変換規則》この変換規則では、次に述べる第1～第5規則にしたがって、図2に示すように、注目ドットを中心にして、前1ドット、後ろ2ドットの計、4ドットを参照パターンとして、縮小パターンを選択する。なお、この図2では、上段に参照パターンを示し、下段に縮小パターンを示し、矢印でこれら参照パターン、縮小パターンの対応関係を示している。

<第1規則>4ドットのうち、最初の1ドット目が黒ならば、縮小パターンの最初のドットを黒にし、1ドット目が白ならば、縮小パターンの最初のドットを白にする。

<第2規則>4ドットのうち、中央の2ドット目と、3ドット目とが共に白ならば、縮小パターンの2ドット目を白にする。

<第3規則>4ドットのうち、最初の1ドット目が白で、かつ最後の4ドット目も白であり、2ドット目または3ドット目のうち、少なくともどちらか一方が黒ならば、縮小パターンの2ドット目を黒にする。

<第4規則>4ドットのうち、最初の1ドット目が黒で、かつ最後の4ドット目も黒であり、2ドット目または3ドット目のうち、少なくともどちらか一方が白ならば、縮小パターンの2ドット目を白にする。

<第5規則>4ドットのうち、最初の1ドット目または最後の4ドット目のうち、少なくともどちらか一方が白で、他方が黒であり、2ドット目または3ドット目のうち、少なくともどちらか一方が黒ならば、縮小パターンの2ドット目を黒にする。

【0010】《副走査方向に縮小する処理で使用する変換規則》この変換規則では、次に述べる第1～第5規則にしたがって、図3に示すように、注目ドットを中心にして、前1ライン、後ろ2ラインの同じ位置にあるドットの計、4ドットを参照パターンとして、縮小パターンを選択する。なお、この図3では、左側に参照パターンを示し、右側に縮小パターンを示し、矢印でこれら参照パターン、縮小パターンの対応関係を示している。

<第1規則>4ドットのうち、最初の1ドット目が黒ならば、縮小パターンの最初のドットを黒にし、1ドット目が白ならば、縮小パターンの最初のドットを白にする。

<第2規則>4ドットのうち、中央の2ドット目と、3ドット目とが共に白ならば、縮小パターンの2ドット目を白にする。

<第3規則>4ドットのうち、最初の1ドット目が白で、かつ最後の4ドット目も白であり、2ドット目または3ドット目のうち、少なくともどちらか一方が黒ならば、縮小パターンの2ドット目を黒にする。

<第4規則>4ドットのうち、最初の1ドット目が黒で、かつ最後の4ドット目も黒であり、2ドット目または3ドット目のうち、少なくともどちらか一方が白なら

ば、縮小パターンの2ドット目を白にする。

<第5規則>4ドットのうち、最初の1ドット目または最後の4ドット目のうち、少なくともどちらか一方が白で、他方が黒であり、2ドット目または3ドット目のうち、少なくともどちらか一方が黒ならば、縮小パターンの2ドット目を黒にする。

【0011】《主走査方向、副走査方向に縮小する処理で使用する変換規則》この変換規則では、次に述べる上述した変換規則を基本として、第1、第2規則にしたがい、図4～図8に示すように、注目ドットを中心にして、前1ライン、後ろ2ライン、前1ドット、後ろ2ドットの計、4×4ドットを参照パターンにして、縮小パターンを選択する。なお、これら図4～図8では、左側に参照パターンを示し、右側に縮小パターンを示し、矢印でこれら参照パターン、縮小パターンの対応関係を示している。

<第1規則>4×4ドットのうち、1列目および1行目については、上記の変換規則をそのまま使用して、縮小パターンの1行目と、1列目とを選択する。

29 <第2規則>4×4ドットのうち、(2, 2)、(2, 3)、(3, 2)、(3, 3)のドットの白、黒の組み合わせに応じて、以下に記載した第1～第10サブ規則に基づき、縮小パターンの(2, 2)ドットの白、黒を決定する。

(第1サブ規則) 4×4ドットの(2, 2)、(2, 3)、(3, 2)、(3, 3)のドットが全てが白ならば、縮小パターンの(2, 2)ドットを白にする。

(第2サブ規則) 4×4ドットの(2, 2)、(2, 3)、(3, 2)、(3, 3)のドットが全てが黒ならば、縮小パターンの(2, 2)ドットを黒にする。

(第3サブ規則) 4×4ドットの(2, 2)、(2, 3)、(3, 2)、(3, 3)のドットのうち、(2, 3)のドットまたは(3, 2)のドットのうち、いずれか一方のみが黒ならば、縮小パターンの(2, 2)ドットを白にする。

(第4サブ規則) 4×4ドットの(1, 3)、(2, 2)、(3, 1)のドットのみが黒ならば、縮小パターンの(1, 2)のドットと、(2, 1)のドットとを黒にし、(1, 1)のドットと、(2, 2)のドットとを白にする。

(第5サブ規則) 4×4ドットの(2, 2)、(2, 3)、(3, 2)、(3, 3)のドットのうち、(2, 2)のドットと、(3, 3)のドットが共に白で、かつ縮小パターンの(1, 1)、(1, 2)、(2, 1)のドットがいずれも黒になる条件であれば、縮小パターンの(2, 2)ドットを白にする。

(第6サブ規則) 4×4ドットの(2, 2)、(2, 3)、(3, 2)、(3, 3)のドットのうち、(2, 2)のドットと、それ以外の1ドットとが共に黒で、かつ縮小パターンの(1, 2)、(2, 1)のドットがい

(5) 特開平10-108007

8

7 すれも白になる条件であれば、縮小パターンの(2, 2)ドットを黒にする。

【0013】(第7サブ規則) 4×4 ドットの(2, 2), (2, 3), (3, 2), (3, 3)のドットのうち、(2, 3)のドットおよび(3, 3)のドットのみが黒で、かつ4行目が全て黒もしくは(1, 4)のドットまたは(4, 4)のドットのうち、いずれかが黒で、さらに(2, 4)のドットまたは(3, 4)のドットのうち、少なくとも一方が黒ならば、縮小パターンの(2, 2)のドットを白にする。

(第8サブ規則) 4×4 ドットの(2, 2), (2, 3), (3, 2), (3, 3)のドットのうち、(2, 3)のドットおよび(3, 3)のドットのみが黒で、かつ4列目が全て黒もしくは(4, 1)のドットまたは(4, 4)のドットのうち、いずれかが黒で、さらに(4, 2)のドットまたは(4, 3)のドットのうち、少なくとも一方が黒ならば、縮小パターンの(2, 2)のドットを白にする。

(第9サブ規則) 4×4 ドットの(2, 2), (2, 3), (3, 2), (3, 3)のドットのうち、いずれか1つが白で、かつ4行目と、4列目とが全て黒もしくは(1, 4)のドットと、(4, 1)のドットが共に黒で、さらに(4, 4)のドットが白または(1, 4)のドットと、(4, 1)のドットがともに白で、(4, 4)が区で、かつ(2, 4)のドットまたは(3, 4)のドットのうち、少なくとも一方が黒であると同時に、(4, 2)のドットまたは(4, 3)のドットのうち、少なくとも一方が黒ならば、縮小パターンの(2, 2)のドットを白にする。

(第10サブ規則) 上記のいずれにも該当しないパターンのうち、 4×4 ドットの(2, 2), (2, 3), (3, 2), (3, 3)のドットのうち、いずれか1つ以上が黒ならば、縮小パターンの(2, 2)のドットを黒にする。そして、これら主走査方向に縮小する処理で使用する変換規則、副走査方向に縮小する処理で使用する変換規則、主走査方向、副走査方向に縮小する処理で使用する変換規則に基づき、参照パターンを縮小パターンに変換するパターン変換テーブルが作成され、これがパターン変換テーブルデータROMSに格納される。

【0014】次に、図1に示すブロック図、図2～図8に示す参照パターン/縮小パターン変換例を示す模式図を参照しながら、この形態例の動作を説明する。まず、受信相手機(例えば、ファクシミリ装置など)に対して画像データを送信する前に、ファックス制御処理部6によって受信相手機と通信手順情報などの通信が行われて、受信相手機で受信可能な解像度などの情報を取り込まれる。次いで、演算制御部4によって画像メモリ部2などに格納されている送信対象となる画像データを構成する1ページ当たりのドット数、ライン数と、受信相手機で受信可能な解像度または1ページ分の印字領域のド

ット数、ライン数との差が蓄えられるとともに、この計算結果に基づき、縮小率が計算されて、間引くドット、ラインの位置が決定される。この後、演算制御部4によって、画像メモリ部2に格納されている画像データが1ライン目から順に、スキャンされて、間引く位置の画像データが取り出された後、この画像データが圧縮画像コードデータであるかどうかがチェックされ、圧縮画像コードデータであれば、この圧縮画像コードデータが圧縮伸張処理部3に転送されて、圧縮コードが伸張され、これによって得られた画像データがフレームメモリ部7に格納される。以下、残りのラインについて、上述した画像データのスキャン処理および伸張処理が繰り返されて、各ライン毎に、圧縮されていない画像データが作成され、これがフレームメモリ部7に順次、格納される。この処理が終了して、フレームメモリ部7内に送信対象となる、圧縮されていない画像データの格納が完了すれば、演算制御部4によって前記フレームメモリ部7に格納されている画像データが先頭ラインからライン単位で順次、読み出されながら、この画像データを構成する各ドットが 4×4 ドット単位、または 4×4 ドット単位で参照データにされるとともに、この参照データが検索キーにされて、パターンパターン変換テーブルデータROM5がルックアップされ、前記参照データに対応する縮小データが選択されながら、前記参照パターンが縮小データに書き換えて、縮小した画像データが作成される。

【0015】次いで、縮小した画像データが送信データであれば、圧縮伸張処理部3によって受信相手機に合わせた圧縮手順で、データが圧縮された後、ファックス制御処理部6に渡され、受信相手機に送信される。また、送信相手機(例えば、ファクシミリ装置など)から画像データを受信するときには、ファックス制御処理部6によって送信相手機と通信手順情報などの通信が行われて、送信相手機から送信される画像データが取り込まれて、これが画像メモリ部2に格納される。この画像データの解像度より、印刷装置8の解像度が低いときには、上述した解像度変換処理によって画像メモリ部2に格納されている画像データの間引かれてた後、フレームメモリ部7に格納される。この後、このフレームメモリ部7に格納されている画像データが印刷装置8に渡されて、印刷処理される。このようだこの形態例では、相手側のファクシミリ装置に対して画像データを送信するとき、相手側ファクシミリ装置の能力(受信できる解像度)を判定し、この判定結果に基づき、画像データの縮小が必要なとき、上述した変換規則に基づき、画像データを構成する各ドットのうち、注目ドットを中心にして、前1ドット(または、前1ライン)、後ろ2ドット(または、後ろ2ライン)の計、4ドット単位、または 4×4 ドット単位で、縮小パターンに書き換えて、画像データを縮小し、これを相手側のファクシミリ装置に送信する

(6)

特開平10-108007

10

9 ようにしたので、墨痕や文字中の線、アンダーラインなどの線状部分に画像抜けなどが発生しないようになるとともに、文字潰れや画像潰れなどが発生しないようにすることができる。これによってイメージデータの縮小を行なっても、ファクシミリ出力の品質が低下するのを防止することができる。

【0016】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、縮小するために間引くドットと、その前後または左右のドットとの計、4ドット（または、 4×4 ドット）のパターンから画像の特徴を抽出し、この抽出結果に基づき、画像の劣化が最小になると推定される縮小パターンを選択して、前記4ドット（または、 4×4 ドット）を縮小パターンに置き換えることにより、墨痕や文字中の線、アンダーラインなどの線状部分に画像抜けなどが発生しないようにすることができるとともに、文字潰れや画像潰れなどが発生しないようになることができ、これによってイメージデータの縮小を行なっても、ファクシミリ出力の品質が低下するのを防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による画像縮小方法の一形態例を適用したファクシミリ装置の一例を示すブロック図である。

【図2】図1に示すファクシミリ装置において、主走査方向に縮小する処理で使用する変換規則例を示す模式図*

*である。

【図3】図1に示すファクシミリ装置において、副走査方向に縮小する処理で使用する変換規則例を示す模式図である。

【図4】図1に示すファクシミリ装置において、主走査方向、副走査方向に縮小する処理で使用する変換規則例を示す模式図である。

【図5】図1に示すファクシミリ装置において、主走査方向、副走査方向に縮小する処理で使用する変換規則例を示す模式図である。

【図6】図1に示すファクシミリ装置において、主走査方向、副走査方向に縮小する処理で使用する変換規則例を示す模式図である。

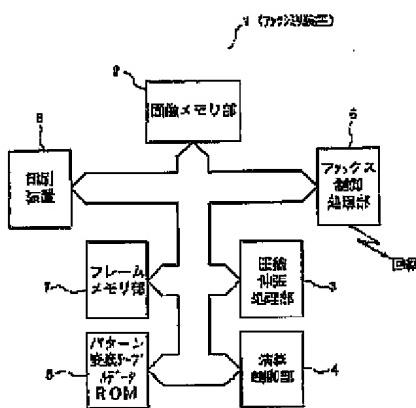
【図7】図1に示すファクシミリ装置において、主走査方向、副走査方向に縮小する処理で使用する変換規則例を示す模式図である。

【図8】図1に示すファクシミリ装置において、主走査方向、副走査方向に縮小する処理で使用する変換規則例を示す模式図である。

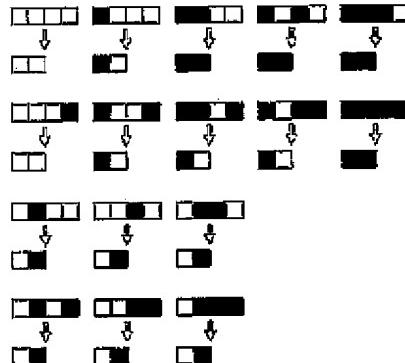
【符号の説明】

1…ファクシミリ装置（画像処理装置）、2…画像メモリ部、3…圧縮解圧処理部、4…演算制御部、5…パターン変換テーブルデータROM、6…ファックス制御処理部、7…フレームメモリ部、8…印刷装置

【図1】



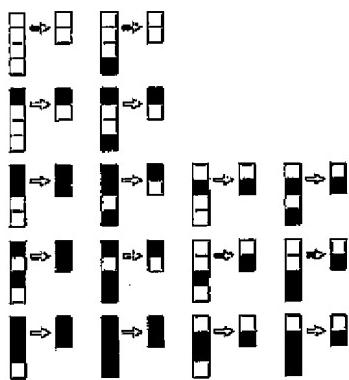
【図2】



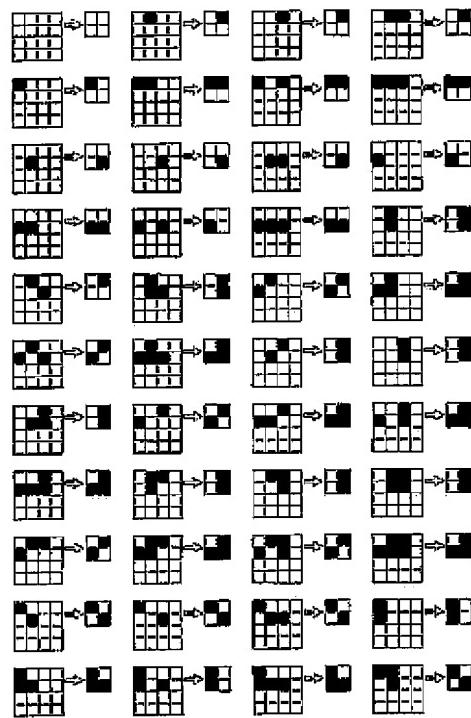
(7)

特開平10-108007

[図3]



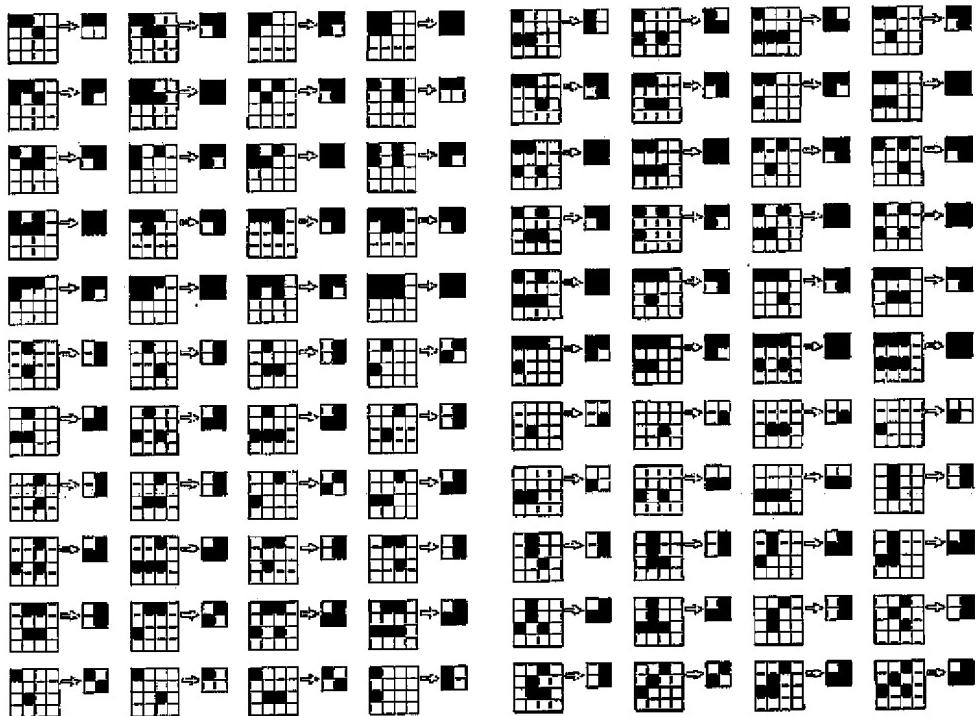
[図4]



(8)

特許平10-108007

【図6】

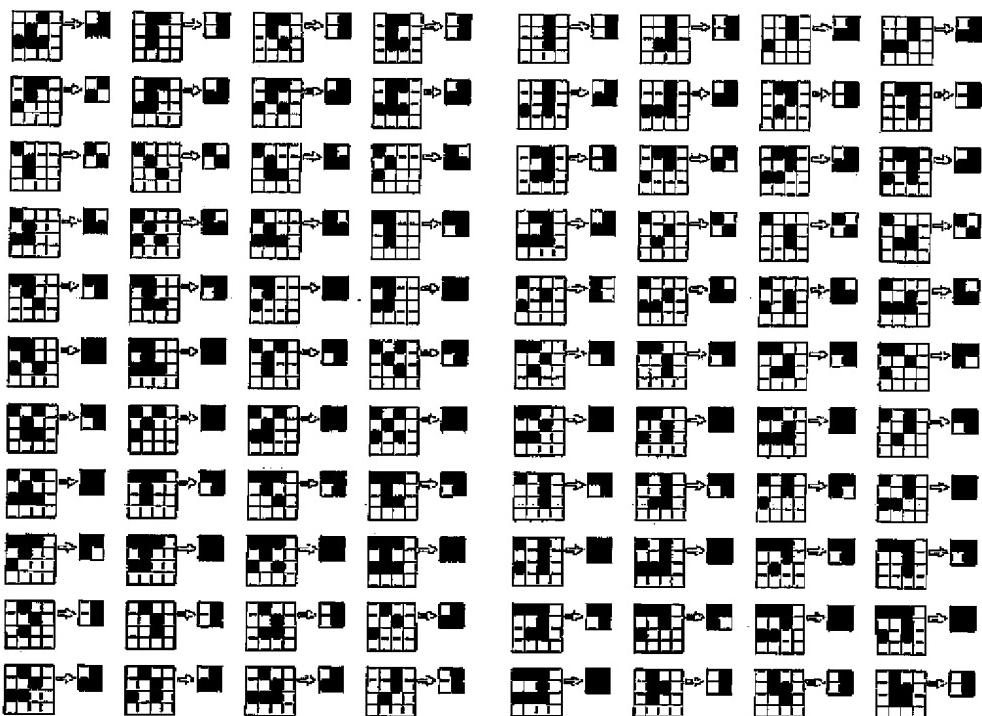


【図6】

(9)

特許平10-108007

[図7]



[図8]

